

幸せが ときめく瞬間…



ERIC ROHMER
CONTES DES QUATRE SAISONS
CONTE
D'AUTOMNE

恋の秋

エリック・ロメール監督作品
〈四季の物語〉

黄金色の陽光で育つ
ワインのように
繊細で、芳醇な、恋の思い
巨匠ロメールが10年をかけた
〈四季の物語〉完成の名作



1998年ヴェネチア国際
映画祭最優秀脚本賞
1998年東京国際映画祭
シネマリズム招待作品

監督・脚本=エリック・ロメール
撮影=ティエリス・バラチエ
録音=パスカル・リビエ
編集=マリヌ・ステファン
音楽=クロード・マルティ
製作=マルグレート・メネゴース
マリヌ・リウヴェール
ヘア・ドリス・ロマン
アレクシア・ポルタル
アラシ・リボル
ティティエ・サンドル
フランス映画、製作=LES FILMS
DU LOSANGE, LA SEPT CINEMA,
RHONE-ALPES CINEMA / 製作参加=
CANAL +, CNC, SOFILMKA /
LES FILMS DU LOSANGE,
LA SEPT CINEMA, 1998
●原作本(四季の物語)出版=慶応社
●後援:フランス大使館文化部
日仏学院、ユニフランス・フィルム
日本におけるフランス年実行委員会

France
フランス映画社配給
パウ・シリーズ作品

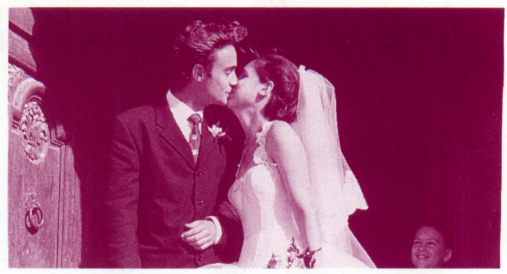


恋の秋

エリック・ロメール
監督作品
《四季の物語》

ERIC ROHMER
CONTES DES QUATRE SAISONS
CONTE
D'AUTOMNE

「問題は、あなたも私も同じですよ」
「男（こいつ）と女（こいつ）でしよー。」
「ええ、そのとおりね」
「じゃ、簡単よ」
「簡単？ ワイン作りより難しいわ」



偶然や思い過ぎしが呼ぶ、思わぬ笑いで展開するロメールの名人芸
芳醇なワインの味わいの恋物語



女だからわかる、美しいときめきの季節
名匠ロメールの愛の名作

ローヌ渓谷の小さな農園でぶどう酒づくりのうちこんでいるマグリは強気で陽気な女性。彼女がうわべとは逆にとても孤独なのを察している親友イザベル、そして、マグリの子レオのガールフレンドでマグリにより強い愛を感じている女子大生ロージーが、それぞれにマグリへの恋の相手を探す。イザベルは新聞の結婚交際広告欄に投書してビジネスマンのジェラルドと身代わりでデートし、ロージーは最近別れた哲学教師エチエヌをマグリに紹介しようとする。イザベルの娘エミリアの結婚披露宴のガーデン・パーティーで、そんなことを知らないマグリの前に、ジェラルドが、そしてエチエヌが現れる…

主演のベアトリス・ロマンとマリー・リヴィエールは、ロマンは「クレールの膝」(70)で18才でデビュー、リヴィエールは『聖杯物語』(78)のコーラス役が映画初出演で、二人ともロメール映画6作目で仲よく最多出演。「秋の花の出現」とたたえられる映画デビューを飾ったアレクシア・ポルタル他の出演は、演劇界の名優ディディエ・サンドルとアラン・リボル。製作のマルガレート・メネゴーズをはじめ、撮影、編集、制作と殆どが女性スタッフ。音楽はクロード・マルティのカタラン地方のグループ。

ヴェネチア映画祭で、絶え間ない笑いにつつまれ、エンディングではイタリアの若者たちが音楽に手拍子でブラヴォーノと喝采し、満場がスタンディング・オーヴェーションで沸きに沸いた。



●1998年フランス映画、製作＝LES FILMS DU LOSANGE、LA SEPT CINEMA、RHONE-ALPES CINEMA / 製作参加＝CANAL +、CNC、SOFILMKA / カラー、1×1.66、全6巻3,056M、1時間52分、ドルビーSR / 日本語字幕＝松岡葉子、字幕及びプレス資料監修協力＝武田潔、宣伝デザイン＝小笠原正勝 / ©LES FILMS DU LOSANGE、LA SEPT CINEMA、RHONE-ALPES CINEMA 1998 ●原著作出版＝愛育社

エリック・ロメールの最新作「恋の秋」は、四つの季節の四つの愛を描く《四季の物語》シリーズを完結する1編。ロメール長編第20作で、日本公開の長編としては第18作だ。

ワインの《コート・デュ・ローヌ》の産地ローヌ渓谷を舞台に、ロメール自身が最も好きな季節《秋》の、移ろいゆく黄金色の光と風の自然につつまれて、ワインが熟成していくような繊細で芳醇な恋の物語がユーモアたっぷりに展開する。

二人のヒロインは小柄で野性的なマグリと大柄で優雅なイザベル。二人とも母親の年代だが、20才のロージーも羨む天衣無縫さで、過ぎゆく秋の午後、惜しいほどに美しい瞬間に永遠の若さで輝いていく。

《四季の物語》で最高、そしておそらくロメール全作品の最高傑作と絶賛につつまれているのが「恋の秋」だ。

ロメール映画はシリーズ映画としても知られている。それぞれ一つの作品として完結していながら、長期的に、シリーズそのものをも完成していくユニークな構想だ。60年代の《六つのモラルの物語》6作品、80年代の《喜劇とことわざ》6作品、そして、90年代の「春のソナタ」(89)で始まった《四季の物語》。「恋の秋」は3つのシリーズをも完成する記念碑的な作品だ。



【スタッフ】監督・脚本＝エリック・ロメール、撮影＝ディアーヌ・バラチエ、録音＝バスカル・リビエ、編集＝マリー・ステファン、タイトル・デザイン＝クレール・シャンピオン、制作＝フランソワーズ・エチエウライ、音楽＝クロード・マルティ他、製作＝マルガレート・メネゴーズ【キャスト】マリー・リヴィエール、ベアトリス・ロマン、アラン・リボル、ディディエ・サンドル、アレクシア・ポルタル、ステファヌ・ダルモン、オーレリア・アルカイス、マチュー・ダヴェット、イヴ・アルカイス

市民映画劇場10月例会(第318回) チラシを御持参の方は、当日料金1500円より100円引
■時 10月15日(金)・16日(土) ①11:00②13:30③16:00④19:00
■所 神戸朝日ホール(大丸から東へ50m)
■前売料金 1300円/当日1500円 小学生・身障者・シルバーは当日1100円 / 中・高生は当日1300円
 前売券はせいでん(センター街)、阪急三宮、海文堂、神戸文化ホールの各P.G.、MOKUBA'S、展覧会の絵、映サ事務所にあります。
 神戸映画サークル協議会 331-8538 (事務所は平日 11時から18時まで) ホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/i/kcc/>
就学前のお子さまのご入場はご遠慮下さい。